

平成27年度の進捗状況

子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援事業計画の平成27年度進捗状況の点検・評価を行い、それぞれの事業について、子ども・子育て会議が考える今後の課題をまとめました。今後は子ども・子育て会議の意見を踏まえ、事業の見直しや改善に努めます。評価書の全文は、子育て支援課または市ホームページで確認できます。

1号認定(3歳以上保育の必要なし)	各幼稚園が保護者のニーズを的確に把握し、特色のある教育を引き続き実施していくことが求められる。	病児保育事業	引き続き利用の周知に努め、真に利用したい方が利用できる制度にしていくべき。
2号認定(3歳以上保育の必要あり)	入所を取り下げて療育を実施することとしたケースについては、子育てコンシェルジュが継続した支援を行うべき。	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	今後も援助会員の確保に向けた取り組みが求められる。
3号認定(3歳未満保育の必要あり)	低年齢児保育や開所時間について、どの地区でも平等な質の高いサービスが受けられるよう検討すべき。	利用者支援事業	子ども・子育て支援新制度に基づく利用者支援事業が蒲郡市においては平成28年度から開始されたため、今後は利用者支援の実績も見ながら評価すべき。
時間外保育事業(延長保育事業)	延長保育の考え方が子ども・子育て支援新制度により変更されたことから、今後の実績を見たと上で実態に即した量の見込みや確保方策を検討すべき。	乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん訪問)	今後も全家庭を訪問できるよう努めるべき。
放課後児童健全育成事業(児童クラブ)	現在の運営体制では児童・保護者のニーズを十分に満たしているとは言えない。放課後健全育成の趣旨が十分に実現されるよう、開設時間・場所の検討が必要。	養育支援訪問事業	引き続き事業を継続すべき。
子育て短期支援事業(ショートステイ)	保護者の病気などに限らず、精神的に大きな負担を抱えるなどの場合にも安心して子どもを預けられることの周知が必要。	妊婦健康診査	一貫した支援が継続されており、今後においても事業を実施すべき。
地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター事業)	引き続き事業の周知に努め、子育て支援センターが子育て家庭をどのように支援していくのか今後も検討していくことが求められる。	その他全体にかかわる課題	地域全体で子育てをする環境づくりを事業者も巻き込んで検討していく必要があり、支援者の質の向上や、事業の充実に努めるべき。
一時預かり事業	幼稚園の預かり保育と保育園の一時預かりでは利用の趣旨が異なるため、今後もそれぞれの進捗状況を点検すべき。		

詳しくはホームページへ。 [蒲郡市子育て支援課](#)

[検索](#)

